

【第Ⅰ期】

- 第1巻 解題／大正十四年度事業報告／大正十五年度・昭和元年度事業報告／昭和二年度事業報告
- 第2巻 昭和三年度事業報告／昭和四年度事業報告／昭和五年度事業報告／昭和六年度事業報告
- 第3巻 昭和七年度事業報告／昭和八年度事業報告／昭和九年度事業報告
- 第4巻 昭和十年度事業報告／昭和十一年度事業報告／昭和十二年度事業報告
- 第5巻 昭和十三年度事業報告／昭和十四年度事業報告／昭和十五年度事業報告
- 第6巻 不良住宅地区改良事業報告第一輯 猿江裏町不良住宅地区改良事業報告／不良住宅地区改良事業報告第二輯 南太田町不良住宅地区改良事業報告
- 第7巻 共同住宅居住者生活調査（第一回）／共同住宅居住者生活調査（第二回）／共同住宅居住者生活調査（第三回）／共同住宅居住者生活調査（第四回） 付録・日暮里不良住宅地区居住者調査統計表
- 第8巻 共同住宅居住者生活調査（第五回）／共同住宅居住者生活調査（第六回）／共同住宅居住者生活調査（第七回）／共同住宅居住者生活調査（第八回）
- 第9巻 共同住宅居住者生活調査（第九回）／第十次同潤会共同住宅居住者生活調査 付 欧米諸国の不良住宅地区改良事業概観／共同住宅居住者生活調査（第十一回）

第4巻

- 住宅衛生文獻集
- 第5巻 不良住宅地区改良後に於ける地区内居住者生活調査報告書
- 第6巻 アパート居住者生活調査報告書
- 第7巻 同潤会同潤啓成社事業要覧（大正十四年五月）／同潤会同潤啓成社事業要覧（昭和二年六月）／仮住宅事業報告／同潤会経営住宅の業績／時局と住宅／同潤会と其の事業
- 第8巻 五室以内の新住宅設計／新しい簡易小住宅／工場労働者の居住事情——職工住宅素人設計懸賞応募者並に応募図案に付き観察したる統計報告
- 第9巻 労働者住宅建設指針／工場員向小住宅実例図集——附独身者共同宿舍設計図
- 第10巻 事業概況（大正十四年・昭和十四年）

【第Ⅲ期】

- 第1巻 解題／CD-ROM収録図面一覽／同潤会大正十三年事業報告書／同潤会規程類集
- 第2巻 同潤会十八年史／住宅間取標準図案
- 第3巻 外国に於ける住宅敷地割類例集／外国に於ける住宅敷地割類例集
- 第4巻 家賃制限並借家人保護に関する欧州諸国の法制／家賃制限並借家人保護に関する欧州諸国の法制追録／欧米諸国に於ける最近の住宅建築補助並金融制度概観
- 第5巻 欧米の住居法
- 第6巻 欧米の住宅事情と住宅政策（上）
- 第7巻 欧米の住宅事情と住宅政策（下）
- 第8巻 鉄筋コンクリート造アパートの火災実験報告／矩形及円形中

庭の昼光能率／小住宅附帯設備管見／小住宅の空気イオンの研究／壁面及び屋根面の受熱量に関する研究／住宅の防厚防寒に対する基礎的研究

第9巻 積雪地方農村住宅衛生調査報告書——新潟県南魚沼郡浦佐町／積雪地方農村住宅の採光に関する調査報告書／東北地方農村聚落調査報告書——宮城県遠田郡富永村／秋田、山形県農村住宅素人設計懸賞募集当選図案集／青森、岩手、宮城、福島県農村住宅素人設計懸賞募集当選図案集／東北地方農村住宅懸賞募集当選図案集

第10巻 東北地方農村住宅研究会座談会要録／同潤会東北地方農山漁村住宅改善調査委員会議事録集

第11巻 東北地方郷土住宅誌／東北地方農山漁村住宅改善読本／東北地方農山漁村住宅改善要旨／東北地方農山漁村住宅改善要旨

第12巻 東北地方農山漁村住宅改善調査報告書（第一巻・第三巻）

CD-ROM（収録図面の一例）
 「普通住宅」各地の同潤会本住宅／「分譲住宅」調布千鳥町・経堂・赤羽・川口・山下町など／「アパートメント」渋谷・江戸川・柳島・日暮里・虎ノ門・青山・大塚・猿江裏町・東大工町など

推薦します（50音順・敬称略）

- 一番ヶ瀬康子（元日本女子大学名誉教授、故人）
- 佐藤 滋（早稲田大学教授）
- 鈴木博之（元東京大学名誉教授、故人）
- 西川祐子（元京都文教大学教授）
- 藤森照信（東京大学名誉教授）
- 本間義人（法政大学名誉教授）
- 森まゆみ（作家）

近現代都市生活調査 同潤会基礎資料

全3期31巻
 第Ⅰ期 全 9 巻
 第Ⅱ期 全 10 巻
 第Ⅲ期 全 12 巻
 +CD-ROM 1枚

「震災復興」の原点を記録した第一級の資料

一九二四（大正13）年五月、関東大震災を契機に内務省社会局内に設置された同潤会は、わが国初の公的な住宅供給機関であった。ほとんどの同潤会アパートは取り壊されているが、日本の住宅政策史において同潤会が果たした重要な役割は今後もその価値を失わないであろう。同潤会の実践と調査を「事業報告」「居住者生活調査」で跡づけた第Ⅰ期、同潤会の全体像を「会報」「事業概況」「生計調査報告書」など内部資料で紹介した第Ⅱ期、アパートメント事業、分譲住宅事業、海外の住宅地計画、農山漁村住宅改善事業など、同潤会の手がけた広範な事業を記録した各種同潤会刊行物や貴重な設計図面を収録した第Ⅲ期。全3期31巻で同潤会の活動の総体を辿ることが可能となる。建築史・都市政策はもちろん、社会調査・社会福祉・住居学など幅広い分野の研究に汎用性を有する基本資料である。

おすすめします

- 大学・大学図書館
- 社会福祉
- 家政・居住学
- 社会学
- 建築・都市工学
- 日本近代史
- 都市行政学
- 公共団体
- 都市政策
- 建設局
- 住宅局
- 建築事務所

取扱店

柏書房

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-15-13
 TEL: 03-3830-1891 FAX: 03-3830-5337
 E-mail: eigyo@kashiwashobo.co.jp
 http://www.kashiwashobo.co.jp

第Ⅰ期

- 解題 内田青蔵（神奈川大学工学部教授） 藤谷陽悦（元日本大学生産工学部教授、故人）
- 「不良住宅調査」について 本田 豊（元東京都立大学人文学部講師）
- 造本体裁 菊判 3492頁 全9巻
- 揃定価（本体184,466円+税） ISBN 4-7601-1247-2 [オンデマンド出版]

第Ⅱ期

- 解題 内田青蔵（神奈川大学工学部教授） 藤谷陽悦（元日本大学生産工学部教授、故人） 吉野英岐（岩手県立大学総合政策学部教授）
- 造本体裁 菊判 3940頁 全10巻（第10巻のみA4判）
- 揃定価（本体190,000円+税） ISBN 4-7601-1618-4 [オンデマンド出版]

第Ⅲ期

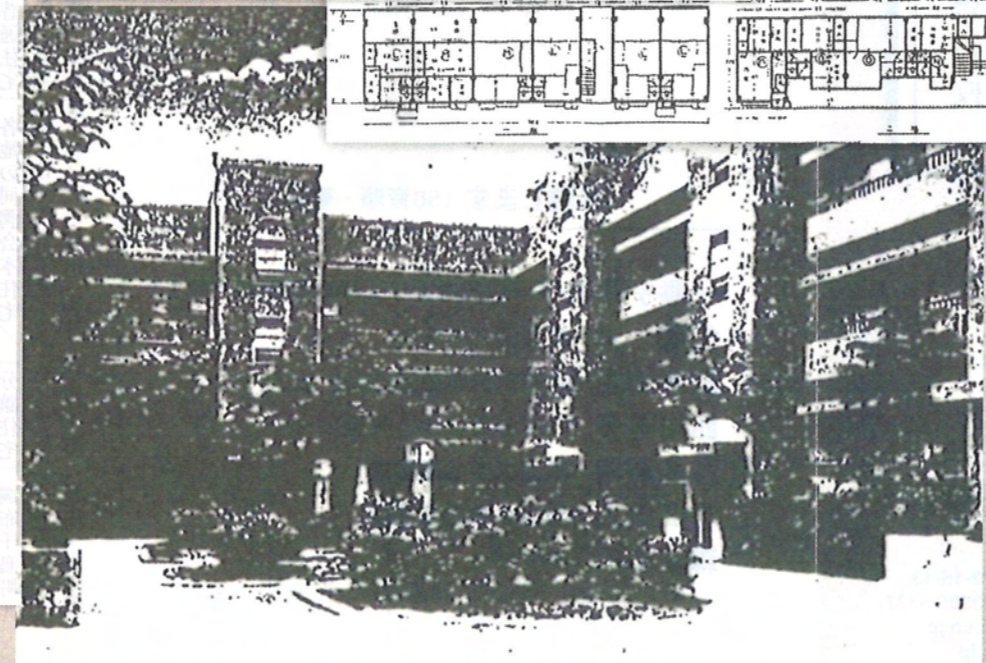
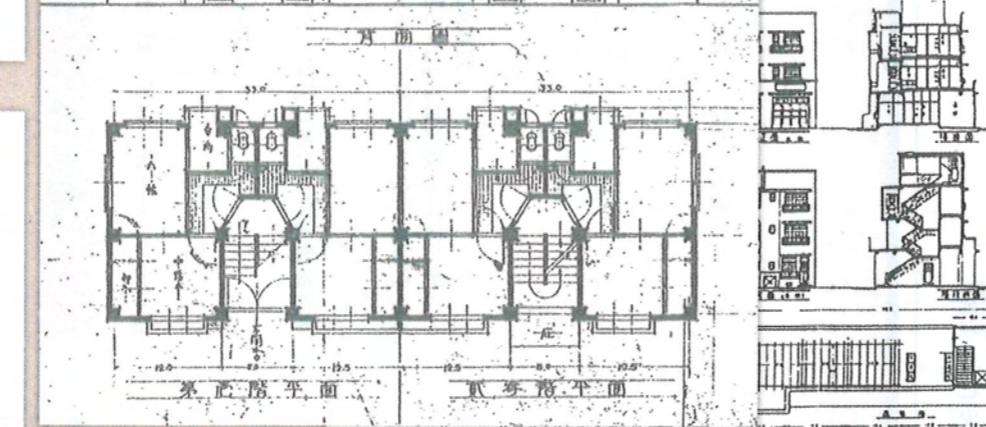
- 解題 内田青蔵（神奈川大学工学部教授） 大月敏雄（東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授） 藤谷陽悦（元日本大学生産工学部教授、故人）
- 造本体裁 菊判 総5500頁 全12巻+CD-ROM 1枚
- 揃定価（本体250,000円+税） ISBN 4-7601-2508-6

同潤会の事業は、今日の都市・農漁村・住宅問題、生活問題に直結している

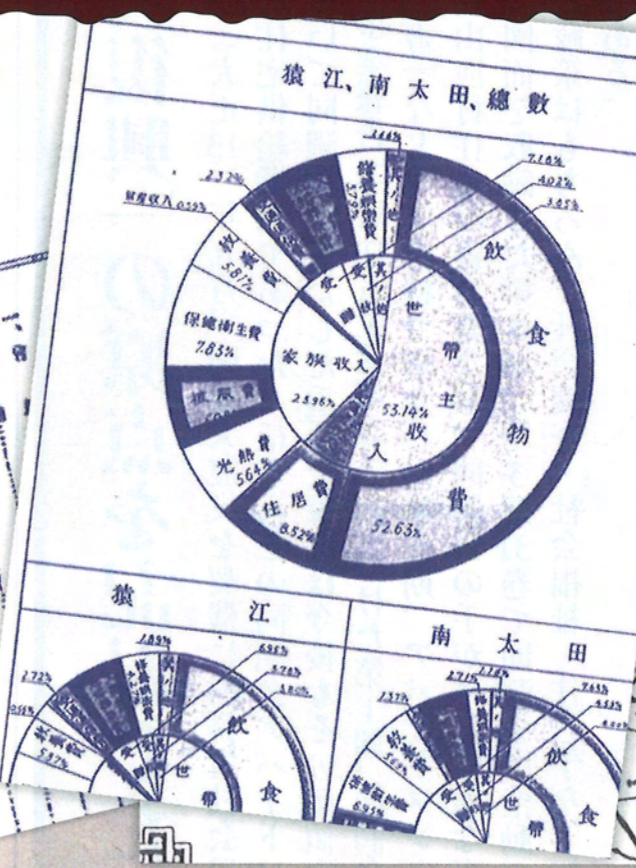
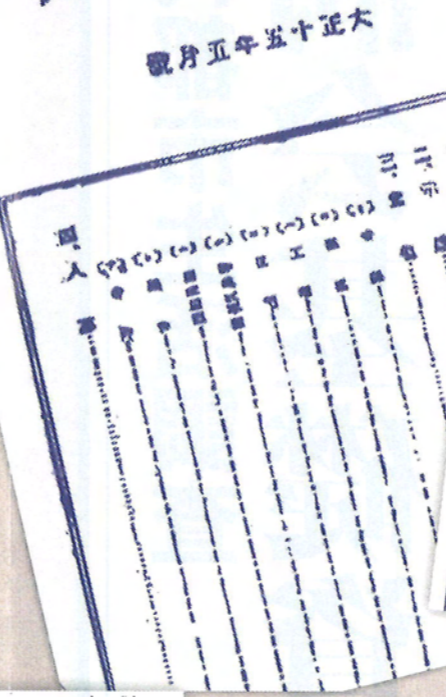
——各分野の研究に役立つ貴重な原データの宝庫！

同潤会とは

関東大震災後、一九二四年五月に内務大臣を会長として設立された財団法人。被害甚大だった東京・横浜の二大都市を対象に活動を展開した。罹災者の仮住宅、定住可能な木造住宅、耐震耐火の鉄筋コンクリート造のアパートメント・ハウスを建設した。最近取り壊されてしまったが、青山などにあった鉄筋アパートは当時の中流サラリーマンの住生活のモデルとして脚光を浴びた。同潤会といえば、アパートメント・ハウスというイメージが今なお強いが、一方で同潤会は、被災者の保護および再教育をもその任務とした。さらに東京猿江方面での不良住宅改良事業にも取り組んでいる。また、同潤会は居住者調査など各種調査も組織的、系統的におこなっている。同潤会は、新しい都市づくり、住宅づくりの「実践者」であると同時に、都市生活者の状況を詳細に調べた「調査者」でもあった。戦時体制が強化される中で一九四一年五月、住宅営団に事業を引き継ぎ解散したが、同潤会の残した業績は貴重なもので、今日の都市・住宅問題に取り組むうえで重要な資料を提供している。



同潤会報



本資料集の特長

- 同潤会の事業内容と軌跡を年度ごとに記録し、同潤会関係者に配布されていた「事業報告」「同潤会会報」「事業概況」を収録。「同潤会十年史」や「十八年史」にも記載されていない諸活動が詳細にわかる。
- 「不良住宅地区改良事業報告」「共同住宅居住者生活調査」「アパート居住者生計調査報告書」「不良住宅地区改良後に於ける地区内居住者生計調査報告書」を収録。家族構成、職業、趣味嗜好にまでわたる詳細な調査結果と、それに対する内務省社会政策派の「社会問題」認知の実態が確認できる。
- 豊富なデータと写真を通して、日本で最初に行なわれた本格的スラムクリアランスと共同住宅建設の実態が把握できる。
- 都市から農山漁村へとその調査・分析を拡大化した同潤会の活動内容が明らかとなる同潤会刊行物を収録。
- 新しい住宅政策を展開すべく、同潤会は積極的に欧米の住宅政策や住居法、住宅敷地割りの事例を収集した。そのような戦前期の海外の貴重な情報をまとめた各種同潤会刊行物を収録。
- 同潤会の手掛けた普通住宅事業・アパートメントハウス事業として分譲住宅事業に関する貴重な建築図面を収録。CD-ROM形式ゆえ、図面は鮮明で詳細な寸法まで確認できる。
- 一冊しか現存が確認されていない「同潤会例規類集」「江戸川アパートメント仕様書」など希少価値の高い資料を収録。
- 都内各地の同潤会アパートがほぼ消滅した現在、その遺産を確認し継承する第一級となる基本資料である。

同潤会をめぐる研究動向

- 同潤会の事業は、たんに東京・横浜にとどまらず、全国的意義をもつものとして以下のように各分野での研究がすすんでいる。
- ① 建築史、都市政策からの研究。建設時の建築物やその配置の計画性などの質の高さ、その背景としての組織や技師の特性などに着目しての研究。
 - ② 住宅政策からの研究。同潤会は公的住宅の建設を担った本格的組織として戦後の公団住宅以上の高い役割を果たした。
 - ③ 行政主体であると同時に政策実施主体としての同潤会の研究。同潤会は低所得者層を対象とした入居者選考や家賃設定など、まったく新たな課題に取り組んだ。
 - ④ 社会調査からの研究。同潤会は、住宅の質に関する調査を盛んにおこないつつ、外国の住宅敷地割や住宅政策についても研究していた。
 - ⑤ 生活学的研究。居住者の「嗜好」「娯楽」まで年次を追って重ねられた調査は、当時の住宅改良地区における住民の生活の様子を知るばかりでなく、年次を追って比較検討できる。
 - ⑥ 近世・近代部落史の研究。同潤会の手がけた「不良住宅地区改良事業」は、今日の同和地区の住環境整備の先駆的事例となっている。
 - ⑦ 現在大きな課題となっている分譲住宅の建替え問題の先駆例としての研究。